

新年明けましておめでとう

町民の皆さまには、明るく希望に満ちあふれて新しい年を迎えられたことと思います。平成十九年が皆様にとっても住田町にとっても、すばらしい一年でありますよう心からご祈念申し上げます。

さて、景気はイザナギ景気を越えたと言われますが、それは大企業を中心としたもので、国・地方の財政状況、さらには本町を取り巻く近隣地域の経済情勢は相変わらず厳しい状況であると言わざるをえません。

このような中、地方自治体は限られた予算の中でより効果的で効率的な行政運営と行政サービスの向上が求められています。

本町では、平成十九年度から新しい「総合計画」がスタートします。これまでの実績や成果を総括するとともに、持続可能な財政運営に努め、「自立・持続の町づくり」を進めて参ります。

今年3月には、国道283号仙人峠道路が開通いたします。現在、本路線の仙人峠トンネルと滝観洞トンネルの間

新年明けましておめでとう

皆さまにおかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。平素は、議会に対しまして深いご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は全国の多くの学校で、いたましい出来事が発生しましたが、本町では、小・中・高ともスポーツ・文化の両面で好成績の報が相次ぎました。今後とも、地域の温かい絆を大切にしていきたいものです。行政面では、市町村合併がひと区切りし、各自治体においても、それぞれ選択した道を歩み始めました。

本町も、今後十年間の総合計画を策定中ですが、議会としても十分議論を尽くし、活力ある町づくりに積極的に取り組む覚悟であります。

自立を選択した本町として、人口減少に歯止めをかけるためにも、雇用の場の確保が重要課題であることは言うまでもありませんが、基幹産業である農林業の振興を進める事が急務であり、情報化時代に適合した産業振興が必要と考

小さくてもキラリと光る町づくりを目指します

に緊急避難用道路が設置されますが、一般車両の乗り降りができるように、国・県に要望しているところであります。一般車両も乗り降りが実現すれば、地域の活性化と観光の振興に大きく寄与するだけでなく、釜石市や遠野市とのアクセスが大きく短縮することから、通勤・通学はもとより、通院や買い物などの生活の利便性が大きく向上するものとなります。

今後さらに「町民が住みやすい町づくり」を目指し、町民の皆さまと手を携え知恵と力を結集し、共に歩んで参りますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

平成19年

議員は住民の代表として、その責務と役割の重大さを深く自覚し、活発な議会活動を通じて、新しい時代にふさわしい「住田町」づくりに皆様のお力添いを頂きながら、一層の努力を重ねて参りたいと思っております。

新しい年が皆さま方の幸多い年になりますよう祈念し、新年の挨拶いたします。



住田町長

多田 欣一



住田町議会議長

千葉 滋夫

地域の絆を大切に